

平成22年2月1日

いしかわ農地・水・環境協議会

■次世代へ伝える地域の農業・環境

県央支部【グリーンワーク大場】



大場町は金沢市の北部に位置し、水稻単作を主体とした経営が行われている地域です。

農地・水・環境保全向上対策事業には平成18年度のモデル事業から取り組んでおり、現在は89.2haの協定農用地において、農業者69名、非農業者9団体により、地域ぐるみでの景観及び生態系、生活環境保全活動等を実施しています。

かつては大場町地内に群生していた「ミズアオイ」(写真：右下)が、現在絶滅の危機にあることを危惧し、その増殖に力を入れるとともに、子どもたちへの継承を積極的に行いながら、地域への定着を目指しています。

さらに、150年以上前に当地区で発見された米の品種である「大場坊主」の栽培を通じて、子どもたちに伝統的な農法を継承する交流活動(写真：左上)を実施しています。



■演劇の町をきれいに

中能登支部【中島みどりネット】

七尾市中島町で活動している「中島みどりネット」は、全国でも類を見ない舞台奥の大扉が開閉する能登演劇堂や市民センター、市営体育館など多くの公共施設に隣接する農地の保全活動に取り組んでいます。

各施設には普段から多くの方が訪れるため、遊休農地の草刈りは大切な作業のひとつです。とりわけ昨年、9月から無名塾の仲代達矢さんによるマクベスの50回にも及ぶロングラン公演の予定があったため、全国から多くの方が観劇に訪れることが予想され、組織では「きれいな町で迎えよう」とさらに力が入りました。

草刈りは、公演の約1ヶ月前に農家や自治会が中心となって演劇堂の周辺農地を中心に汗を流しながら行いました。(写真)

公演が無事終了し成功を収めたと聞き、私たちも多くの方を少しでも気持ちよく迎えることができたのではないかと感じています。

「中島みどりネット」では、今後とも「きれいな中島町」を目指して活動に取り組んでいきたいと思っています。

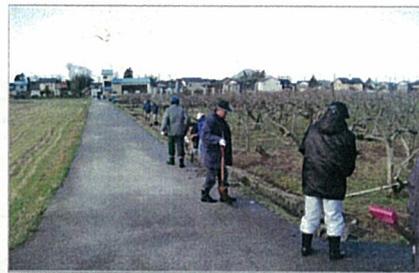


■みんなで守る資源と環境

南加賀支部【川北町農地・水資源保全組合（中島）】

川北町中島地区は全戸数102戸の内農家は34戸と少なく、農地の保全が難しくなりつつある中、この対策が始まった時、地区全体で取り組んでいくことが重要との思いで活動に参加しました。

全戸参加の活動としては、開水路の泥上げ（写真：右）、一斉草刈りを年1回実施。また、7月から9月までの毎日、景観形成で移植した花への水やりを皆さんにお願いしています。



各団体の参加としては、生産組合との合同で石の除れき、側溝の目地詰め等の施設の保全を行い、地区の小学生に書いてもらった啓蒙ポスターを、高齢者組織の皆さんに立て看板として設置

してもらっています。また、女性協議会の方には子供と一緒に景観形成として約1,300株の花の苗を移植（写真：左）に協力していただき、子ども会行事に施設の清掃活動を組み込んでもらっています。



活動が始まって3年目。地域の皆さんにはそれぞれの立場で活動に参加していただいております、これからもみんなで地域の資源・環境を守っていきたいと思います。

■心和む花壇づくり

奥能登支部【守ろう！田の四季あぜみち会】

穴水町前波地区で活動している「守ろう！田の四季あぜみち会」では、旧のと鉄道「前波駅」前の農道沿いに花壇を作っています。（写真）この花壇は、廃線となったのと鉄道の枕木を利用したもので、毎年1か所ずつ増設しています。主にサルビアやマリーゴールドが植えられ、赤や黄色の花が鮮やかに映えて通行する人の心を和らげ、一日の疲れを癒してくれます。植えられた花は、女性会員が交替で水やりや除草をし、元気に育ちました。

また、廃線で景観を損ねている駅舎周辺の清掃なども行い、環境保全に努めています。



【事務局からのお知らせ】

1月から3月においては、各構成団体の総会等で役員等の変更があるかと思えます。代表者や書類郵送先、役員等が変わる活動組織におきましては、体制が確定次第、市町を通して事務局まで届出をお願いいたします。なお、届出書に関しましては【参考様式17号】採択変更届出書を作成し提出願います。

また体制整備構想（案）を2月末日までに市町まで提出願います

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会

事務局：中 正樹